

Butterfiles of Parnassius

# パルナシウス属の蝶

パルナシウス属の蝶は、ユーラシアと北アメリカの高山や高原に生息する「氷河時代の生き残り」とも称される人気のある種類だが、世界で約40種しかない。日本には3種が生息し、その中の1種が切手に描かれている。「ウスバキチョウ」で国の天然記念物に指定されている。特にヒマラヤ山系に生息するアポロウスバシロチョウはヨーロッパ各国から多くの切手に描かれている。その内のいくつかを1リーフにまとめてみた。



ウスバキチョウ 1986 日本  
大雪山系の1600m以上の高山帯で生息し天然記念物であるコマクサを食草とする。亜種名として大雪山の名前も含まれる。  
*Parnassius eversmanni daisetsuzanus*  
本種以外の2種は、北海道にのみ生息するヒメウスバシロチョウと九州以外に生息するウスバシロチョウである。



2段目左より フィンランド1954 パルナシウス属の1番切手 /ユーゴスラビア1964/ スイス1955 /西独1962 /東独1964 /チェコスロバキア1961 /アンドラ1976/ ハンガリー1974/ ギリシャ1981/ スペイン2000/ ポーランド1977/ ブルガリア1962 (以上アポロウスバシロチョウ) スウェーデン1987 (クロホシウスバシロチョウ)

ユーラシア大陸、北米大陸の山岳地帯に生息し、高貴な蝶として非常に人気のある蝶群。ヨーロッパ各国から代表的なアポロウスバシロチョウの切手が発行されており、日本では3種生息する中、ウスバキチョウだけが切手に登場している。